

## 専門看護師・認定看護師から宮崎県民の皆様へ Vol.3

日本看護協会は、国民への質の高い医療の提供を目的に資格認定制度を創設し、22年目となります。特定の専門看護分野の知識・技術を深め、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的として11分野・約1,900名の専門看護師と看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかることを目的に、21分野・約17,250名の認定看護師を社会に送り出しています。(平成29年5月現在)

宮崎県内では、専門看護師10名(4分野)と認定看護師125名(16分野)が活動しています。県民の皆様へ、県内で活動する専門看護師・認定看護師の活動内容を広く知ってもらい、県民の皆様のお役に立てるような内容を情報発信する活動も2年目となりました。今後も継続して、この活動に取り組んでまいります。

# 在宅ケアを受けてみませんか？

訪問看護認定看護師 堤育子

(認定NPO法人ホームホスピス宮崎 訪問看護ステーションぱりおん)

- 病院で治療を受けた、でも点滴や管が入っていたり、酸素をしたりと体が入院前と違った状態になった。玄関の階段も昇れない。退院はもうすぐ。どうしよう・・・
- がんと診断された。これから私は(家族は)どうなるのだろう・・・
- 家族が病院で治療を受けて介護が必要になった。介護をしたことがない私にできるのだろうか・・・

地域には訪問看護ステーション、在宅支援診療所を始め、介護支援専門員など家や施設など療養の場に足を運んでくれる医療や介護のスペシャリストがたくさんいます。

介護保険が始まり住み慣れた家で最期の時を迎えたり、病気や障がいがあっても家で暮らすことができやすくなりました。今私たちは命の輝き、尊厳に満ちた時間をご家族と共にする機会をたくさん頂いております。

2025年団塊の世代が後期高齢者となる社会が目の前に迫っています。大切なのは、困ったことや不安な思いを独りで抱え込まないことです。

是非お近くの訪問看護ステーションや地域包括支援センターにご相談下さい。

住み慣れた街や家で

病気の予防や介護指導も

産まれてから最期まで

地域全体で支えます